教科別研修講座報告

平成 30 年 8 月 21 日（火）

C211 中学校数学科研修講座「思考力・表現力を育てる！数学的活動の充実を目指した授業づくり」

講師　山梨大学准教授　清水　宏幸　氏

〈内容の詳細〉

1　SASA や全国学力・学習状況調査を活用した授業改善について（講義）

・学力調査から見えた福井県の課題について

・課題を意識した授業改善について

2　思考力、表現力を育てる数学的活動の充実について（講義）

・新学習指導要領の方向性について

・数学的活動を重視する授業について

3　数学的に考える資質・能力を意識した授業づくりについて（講義）

・午後からの指導案作成に向けた授業づくりの視点について

4　数学的活動の充実を目指した授業づくり（演習・グループ協議）

・1 年（変化と対応）の単元に絞った授業の指導案作成

・グループごとの発表後、清水先生からのご助言

〈受講者の声〉

・ SASA や全国学調の記述問題のポイントを知ることができました。大学入試が変わっていくことで、中学校で生徒に身につけさせるべき力も変わっていくことや、入試が変わっていく根底には社会の変化があるので、自分自身も考え方を変えていかないといけないと感じました。

・ 思考力・表現力を育てる数学的活動の充実について多くの例を提示していただき、授業の題材について 2 学期から活用できそうなものがありました。午後の演習で発表された指導案も参考にしていきたいと思いました。

・ 清水先生の実践事例には、興味深いものがたくさんあり、大変参考になりました。角の二等分線の実践は、他にもいろいろな場面で使えそうだと思いました。また、数学的活動について、新たな角度から話を聞くことができ、もっと話を聞きたいと思いました。

・ これからの数学教育のあり方について、教師や生徒の視点に立って考えることができました。他校の先生方と指導案を考える機会は、前半の講義を活用できる場となり、有意義であったと思いました。証明の単元において「読む」ということの重要性が高いことを意識して、指導に活かしていきたいと思いました。